

施策番号	1402		
施策名	自立した地域生活への移行促進		
概要	障害のあるひとが地域社会のなかで安心してさせるための保健医療施策を充実させるとともに、福祉施設や精神科病院から地域生活への移行を促進する。		
担当局・部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室	共管局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	居宅介護等の利用時間数(時間)	b	b	199,655	212,235	217,206	97.7%	b	1.00
2	グループホーム等の利用者数(人)	a	a	828	852	828	102.9%	a	1.00
3	自立支援医療の受給者数(人)	a	b	34,807	36,793	35,744	102.9%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答						有効回答 者数	評価
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない			
1	障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	c	c	22 3.7%	173 29.4%	253 43.0%	99 16.8%	42 7.1%	589	c	
2		-	-								
3		-	-							-	
4		-	-							-	
5	-	-	-							-	
		c	c	市民生活実感調査総合評価							c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					平成 30 年度	B	
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c			
（重み付けの理由） 障害のあるひとの自立した地域生活移行を促進するという、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に 施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。							平成 29 年度	B
（原因分析）客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。								
（原因分析）市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・障害のある人などへの理解が、社会全体に十分に広がっているとはいえないことから、全ての設問で「どち らとも言えない」とする回答が最も多くなり、c評価以下となったと考えられる。								

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	京都市健康増進センター（ヘルスピア21）	69,948	75,066	－	保健福祉局
2	外国籍市民重度障害者特別給付金支給事業	14,983	16,031	普通	保健福祉局
3	心身障害児(者)訪問療育指導事業	8,500	0	普通	保健福祉局
4	心身障害児者レスパイトサービスモデル事業（元気家族リフレッシュサポート）	14,119	11,885	良い	保健福祉局
5	介護従業者研修	1,589	1,613	普通	保健福祉局
6	障害児者ホームヘルプサービス（家庭奉仕員）	265,427	245,483	普通	保健福祉局
7	京都国際社会福祉センター運営補助	1,922	1,923	良い	保健福祉局
8	身体障害者福祉会館運営	88,946	85,034	良い	保健福祉局
9	京都ライトハウス運営助成	130,698	130,698	普通	保健福祉局
10	盲人ホーム運営助成	8,184	8,187	普通	保健福祉局
11	民間障害福祉施設運営助成	298,269	262,938	良い	保健福祉局
12	精神科救急医療システム	90,525	100,644	良い	保健福祉局
13	地域精神保健福祉対策	9,465	9,524	良い	保健福祉局
14	精神科病院実地指導・実地審査	10,065	10,097	良い	保健福祉局
15	障害者地域生活支援センター運営事業	448,530	459,339	良い	保健福祉局
16	障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」	264,239	263,226	－	保健福祉局
17	障害者自立支援医療特別対策	32,346	30,104	良い	保健福祉局
18	こころのサポート地域活動助成事業	21,281	21,836	普通	保健福祉局
19	あんしん生活緊急サポート事業	5,138	6,199	かなり良い	保健福祉局
20	福祉ホーム運営補助(身体・精神)	8,830	8,775	悪い	保健福祉局
21	発達障害者支援センター運営事業	81,062	82,678	普通	保健福祉局
22	重度障害者等利用事業所支援事業	336,727	376,968	かなり良い	保健福祉局
23	障害のあるひとへの24時間相談体制の確立（障害者地域生活支援拠点等の整備）	23,425	24,212	かなり良い	保健福祉局
24	在宅心身障害児(者)療育支援事業	28,702	17,323	普通	保健福祉局
25	聴覚言語障害センター管理運営	17,438	8,020	－	保健福祉局
26	飛鳥井学園管理運営	9,419	9,465	－	保健福祉局
27	重度心身障害者医療費支給事業	2,388,507	2,431,131	良い	保健福祉局
28	障害者休日・夜間緊急対応支援事業	1,167	1,508	かなり悪い	保健福祉局
29	地域リハビリテーション推進センター	536,151	550,152	かなり良い	保健福祉局
30	障害児通園（児童デイサービス等）事業運営補助	30,409	29,037	普通	子ども若者はぐくみ局
31	児童療育センター運営事業	17,786	17,565	悪い	子ども若者はぐくみ局
32	障害児施設給付費（市独自軽減分）	120,946	123,621	－	子ども若者はぐくみ局
33	京都市障害児タイムケア事業	80,209	77,971	かなり悪い	子ども若者はぐくみ局
34	軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成事業	2,973	2,893	良い	子ども若者はぐくみ局
35	児童福祉センター療育事業委託	120,714	120,555	良い	子ども若者はぐくみ局
36	心身障害児者総合支援事業	1,689	1,554	良い	子ども若者はぐくみ局
37	重症心身障害児放課後等デイサービス運営補助等事業	5,596	8,542	普通	子ども若者はぐくみ局
38	京都市子ども保健医療相談・事故防止センター（京(みやこ)あんしんこども館）	36,632	38,625	－	子ども若者はぐくみ局
39	障害児施設指定管理システム改修	0	2,370	－	子ども若者はぐくみ局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・障害のあるひとの自立した地域生活への移行を促進するため、一人一人のニーズに応じたサービス提供を行うとともに、家族の介護負担を軽減する観点からも、きめ細やかな在宅生活支援施策の実施や、グループホームの設置促進等に努めていく。
・また、福祉サービスの利用等に当たって、必要な情報を提供し、自己選択・自己決定が可能となるよう相談支援の環境を整えていく。

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進				
-----	------	----------------	--	--	--	--

指標名	居宅介護等の利用時間数（時間）					
-----	-----------------	--	--	--	--	--

担当課	障害保健福祉推進室		連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1	
-----	-----------	--	-----	-----------------	--

1 指標の説明

障害のある方に対する居宅介護等事業（ホームヘルパーの派遣等）の一月当たりの利用時間数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた居宅介護等の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：年間延べ利用時間数÷12月
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	199,655	212,235	12,580時間増	217,206	京都市障害福祉計画を実現するために必要となる時間数の見込み（平成28年度194,563時間、平成29年度206,300時間、平成30年度217,206時間、令和元年度228,563時間、令和2年度239,920時間）	97.7%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		239,920	令和2年度	88.5%	第5期京都市障害福祉計画

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
b	b	b

指標名	グループホーム等の利用者数（人）					
-----	------------------	--	--	--	--	--

担当課	障害保健福祉推進室		連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1	
-----	-----------	--	-----	-----------------	--

1 指標の説明

グループホーム・福祉ホームの利用者（支給決定者）数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に資する各種ホームの活用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：グループホーム等利用者全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	828	852	24人増	828	過去3年間の最高値（平成29年度）	102.9%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新数値が
a：過去最高値以上
b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
c：上中間値未満～平均値以上
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
e：下中間値未満

6 基準説明

当該指標については民間部門の寄与度が高いため、過去3年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：828人（平成29年度）
平均値：783人
最低値：748人（平成27年度）

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
a	a	a

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進				
指標名	自立支援医療の受給者数（人）					
担当課	障害保健福祉推進室		連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1		
1 指標の説明						
自立支援医療費（更生医療，育成医療，精神通院医療）の受給者数						
2 指標の意味						
障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた医療費給付による支援状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：各医療の受給者全数調査 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	34,807	36,793	1,986人増	35,744	過去4年間の最高値（平成28年度）	102.9%
	全国順位	中長期目標				備考 (参考：過去4年の受給者数) 平成26年度：33,574人 平成27年度：31,367人 平成28年度：35,744人 平成29年度：34,807人
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			6 基準説明			
			当該指標については、障害のある方の増加に伴い、医療の受給者数も増加が見込まれることから、過去4年間の数値を基に、最高値以上をa，平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：35,744人（平成28年度） 平均値：33,873人 最低値：31,367人（平成27年度）			
7 評価結果						
平成29	平成30	令和元				
a	b	a				